



本社及び営業所

- 本社所在地：大阪府大阪市中央区上町
- 事業概要：和洋紙の卸および断裁、OA機器の販売、資源回収
- 常時使用する従業員：122名
(グループ全体・2024年12月時点)
- 現在の売上高：24.3億円（グループ全体・2024年12月期）
- 法人番号：5120001090197
- Web：https://maruraku.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
杉山 喜久尚

「“紙から始まる”を創る」

理念「豊かな人生の上で良い仕事がある」のもと、DX・AI時代に対応した紙流通産業を中核に、循環型企業グループへ進化します。特許技術による紙種AI自動識別アプリを活用し、紙データ利活用市場へ参入、「紙の民主化」を実現します。阪神間中小企業のDX・AI導入支援、電子化・データ化支援を通じ地域産業の生産性向上に寄与します。また、運輸・倉庫・加工等を強化し、供給能力と収益性を向上させます。三代目として、次の10年間で70の新事業・新商品・新サービスを創出し、国内紙の新しい価値創造と海外市場展開を推進します。変化を楽しみ、挑戦を歓迎に変え、売上高100億円超・営業利益2億円超・従業員300名超を達成し、100年先にも求められる「紙の未来」を創造してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2033年の売上高100億円の達成に向け、商品提供価値の向上と販路開拓の強化により年率1.6%程度の成長を目指す。
なお、既存事業の市場縮小傾向を織り込みつつ、IT事業、サービス業等の成長を加速させる計画とする。

課題

- 商品提供価値の向上
紙のエモーション・活用ノウハウ（暗黙知）を形式知化し、紙の手触り・質感・色体験が得られる社会インフラ（紙の民主化）を創ること。
- 販路開拓の強化
国内市場縮小に対応する、ビックデータ・輸出入やライセンス事業を確立し、AIに対応した紙の情報を共有する情報網の構築。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

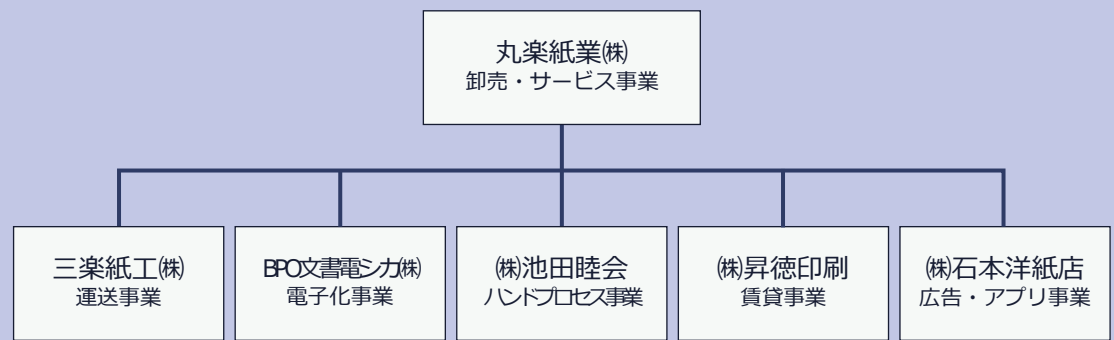
- ・紙テクスチャー識別技術を活用したAIアプリの開発
- ・紙の流通・販売・活用支援までを包括するサービスへ拡張
- ・大学研究室ベンチャーとの共同開発、AI技術の優位性確保
- ・競争力強化による高付加価値化の推進、付加価値増加率の向上
- ・同人誌市場、文具女子市場などの成長市場への訴求強化
- ・新規商品・サービスによる新たな事業収益源を確立
- ・アプリを基軸に紙流通の国際展開を推進
- ・輸出入事業立ち上げによる外需の獲得
- ・継続的なM&Aの実施

実施体制

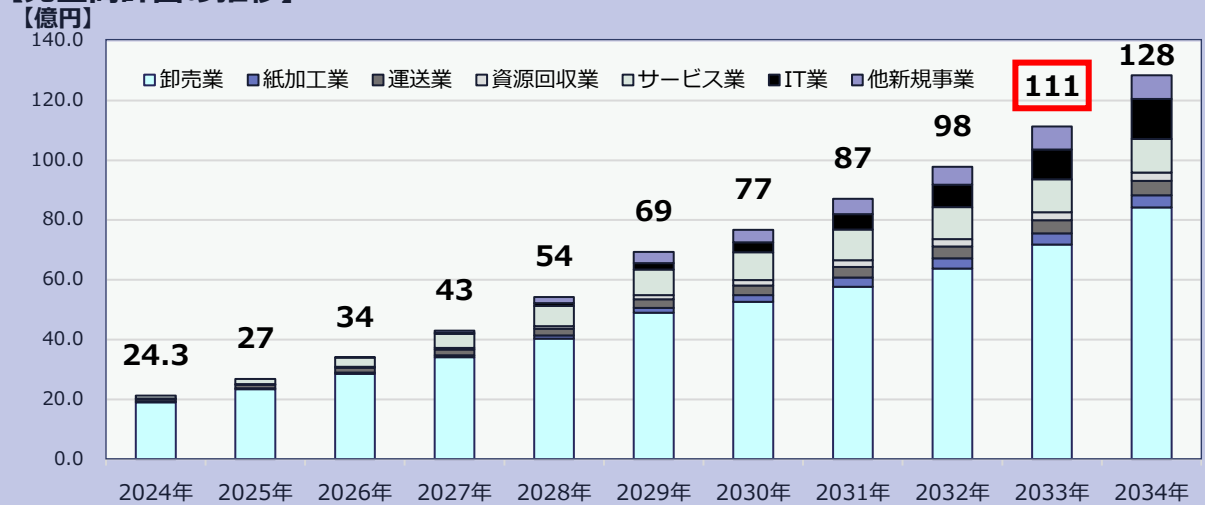
- 社内体制
 - ・役員、従業員一体によるアプリ開発の実行
 - ・AIスキル活用など時流に乗ったビジネスパーソンの育成
 - ・ECサイト部門拡張による実施体制の整備
 - ・KPIの設定および月次会議での進捗管理
- 社外体制
 - ・取引先との連携による商品供給網の確保
 - ・関係会社との連携による事業の効率化
 - ・大学研究室ベンチャーとの連携

売上高100億円実現に向けた具体的措置

丸楽グループとしてそれぞれの役割を発揮することで、「紙から始まる」を創るための体制を構築しています。



【売上高計画の推移】



【スケジュール及び取組内容】

スケジュール感と重点的な取組内容を定め、100億円実現に向けてIT事業、サービス業等の成長を加速させる計画を実践します。

期間	重点的な取組
2025年～	アプリ開発開始／実証実験
2027年～	サービス正式リリース
2028年～	AI事業の本格展開・他部門とのシナジー強化
2030年～	海外展開・紙素材の高付加価値化
2032年～2034年	紙流通の新モデル構築・M&A等も視野に100億円規模へ